

浜松学のあり方検討について（概要）

1 概要・現状

- ・子どもや若者の地域愛を育み、成長後も地域への関心やつながりを保ち、若年層の転出抑制と転入増加につなげるための「浜松学」のあり方を検討する。
- ・浜松市、学校、民間企業などの多様な主体が、小学生から一般まで幅広い年代を対象に、地域愛を育む機会を提供している。

2 課題

- ・本市の人口は、過去 10 年一貫して減少傾向であり、特に若年層（15 歳以上 29 歳以下）は男女ともに転出超過が大きく、人口減少の要因の一つとなっている。
- ・人口減少社会からの脱却を図るため、行政だけでなく、市民や地域、企業が浜松の良さを理解し誇りを持つ中で、それぞれの力を発揮し、オール浜松で取り組む必要がある。

3 事業内容

事例の収集整理とともに、検討委員会を開催し、あり方の検討を実施する。2025 年末に方向性や考え方をとりまとめる予定。

（1）事例の収集整理

地域愛を育むことを目的として、浜松市、学校、民間企業などのほか他都市が実施している事例を収集し整理

（2）検討事項

現在実施されている事例を基にした浜松学の体系的な整理の可能性
浜松に愛着をもってもらうための要素 等

4 スケジュール

2024 年度	5 月～9 月	・ 事例収集
	7 月～9 月	・ 若者からの意見聴取
	12 月	・ 第 1 回検討委員会
	3 月	・ 第 2 回検討委員会
2025 年度	6～7 月（予定）	・ 第 3 回検討委員会
	11～12 月（予定）	・ 第 4 回検討委員会